

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2015年12月29日 第82号
 Tel.592-5000 fax 571-4346
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

新年あけましておめでとうございます。

9条の会・北九州憲法ネット
 代表世話人座長 荒牧啓一

“閉塞の時代”にも朝が来る！

NHKの朝ドラ風に。今年はどんな朝が来るでしょうか！

若者が、未来に夢と希望を持つことができる朝になるでしょうか？子どもらが、目を輝かせて元気に遊べる朝になるでしょうか？それとも、・・・

でも、どんなに暗い闇も明けぬ夜はありません。

ところで、今年の世相を表す漢字に「安」が選ばれました。清水寺の森清範貫主は『命に対する不安から選ばれたのではないか。来年は安心安全な社会をつくろうという思いが表れている。』と言われていました。

私は、真っ先に浮かんだのは、**安全保障法制の「安」**でした。しかし、その実態は「戦争法」。「自衛隊が米軍といつでも、どこでも、切れ目なく、地球の裏側まで行って一緒に行動する」という日米新ガイドラインの国内的な法整備です。

安倍首相「みっともない憲法ですよ」、中谷防衛大臣「憲法を安保法案に合わせる」、西田昌司・副幹事長「国民に主権があるのがおかしい」、磯崎陽輔・同本部事務局長「立憲主義なんて聞いたことがない」、石破茂・前幹事長「出動を拒む兵員は死刑。反対デモはテロ行為と同じ」、これは、安保法案の審理の経過で、公の席で高言したものです。言った本人だけでなく、それに頷く人々がいるのも恐ろしい。公然と国会議員に課された憲法擁護尊重義務に反し、平和主義に反する主張をしている人々が、現在の日本



の舵取りをしています。これって、「安心」できませんよね。

これまで、私たち日本人があまりに政治に無関心だったことを深く反省する必要がありますね。

国家が戦争に加担し、原子力発電を推進するならば、市民は国家に対する不服従運動を展開するしかありません。昨年5月3日の憲法の日以来、市民が、若者が、ママたちが、高齢者も、中年人も、怒りの声をあげてきました。

そして、戦争法成立後も 全国各地でこの戦争法を廃案にするたたかい、安倍内閣を倒す運

動が続いています。主権者として自分の頭で考え、自分の言葉で声を出し、自分の足で行動を続けています。

シールズ(自由と民主主義のための学生緊急行動)の若者の「空気は読むものではない、変えるもの」、「国民の歩みは誰も止められない。」の言葉のとおりです。

このまま、戦争法を放置すると、今年3月には南スーダンに自衛隊が駆けつけ警護のために派遣される(第9次)恐れがあります。そして、自衛隊に「殺せ」、「死ね」という命令が発せられ、日本は「殺し、殺される国になる」おそれが現実

のものとなる可能性があります。

自衛隊員が棺で帰って来た時に、「お国のために犠牲になった自衛隊は犬死か。」の声の前に「おかしい」と言えるのか。物いえない国になる可能性があります。又、私たちは、自衛隊が他国の国民を殺した時に、その憎しみを受ける覚悟、テロの対象になる覚悟はあるのでしょうか？

物言える今、私たちは、闘う必要があります。「誰の子どもも殺させない。」ために。そして、憲法9条が光り輝く、新しい朝を迎えましょう。

追伸；

昨年12月20日、戦争法に反対してきた諸団体の市民有志は、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(略称；「**市民連合**」)結成しました。参加したのは、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、安全保障関連法に反対する学者の会、SEALDs(シールズ)、安保関連法に反対するママの会、立憲デモクラシーの会、です。

市民連合の方針は、**戦争法廃止の2000万人署名**を「共通の基礎」に置き、①**安全保障関連法の廃止**、②**立憲主義の回復**(集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回も含む)、③**個人の尊厳を擁護する政治の実現**—に向け野党共闘を求める、これら課題についての公約を基準に、参議院選における候補者の推薦と支援を行う、というもの。

北九州でも、12月14日「平和をあきらめな北九州ネット」が結成されました。

憲法ネット第12回総会 47名の参加で盛り上がる

12月12日(土)14時から、市立生涯学習総合センターで、「9条の会・北九州憲法ネット」(以下「憲法ネット」と略記。)の第12回総会が開かれました。参加者は、47名でした。



進行は、後藤景子弁護士、主催者挨拶に、荒牧啓一座長、議案提案には、三輪俊和副座長がそれぞれ行い、議事を進行し、確認されました。新しい年度が始まりました。

憲法ネットの講演会や学習会へは、このたびが初登場となる、九州国際大の法学部准教授・神陽子先生の、記念講演が始まりました。

神先生は、地域での憲法運動にも来賓としての挨拶をされており、顔なじみの参加者もいましたが、講演を聞く事は、今回が初めてだと思われました。

13ページに渡る資料とレジメにより、少し早口で、講演が行われ、90分間。休むことなく大きな声で、はなされ、会場からは、賛同の声・拍手が起り、盛り上がりました。

まず、現在の憲法制定の経過と背景から説明

がありました。最近の「戦争法」(正式には「安保法」)制定との関連で、憲法9条での当時の吉田茂総理大臣が「近年の戦争は、多くは国家防衛権の名で行なわれる」、「正当防衛、国家の防衛権に夜戦争を認めると言うことは、隅々戦争を誘発する有害な考え」などの答弁を紹介し、現在の政権との違いを際立たせました。

立憲主義とは

次に、戦争法が、憲法を逸脱した法律であり、立憲主義を逸脱している問題に移りました。立憲主義とは、国家権力を抑制するシステムであると同時に、「個人の自由」と「公共的な政治の審議と決定」を両立させる考え方。多様性(価値観・世界観)を認めることを話しました。

安倍政権以前の内閣では、拡大解釈しても集

团的自衛権は認められないとされてきこと、それが、今回の戦争法の成立で破壊された。これは、国会の監視機能がなくなっていることを示す。「三権分立」の民主主義の根底が破壊された状況。社会が成立しない。

現政権のもとで、“憲法を突破すれば何も怖いものは無い”と言う政治家が闊歩する状況となっている。どうしたら？話は、「この状況をどう打開するのか」の話しに移ります。政権与党は小選挙区制のひずみを利用し多数を取っている。民意の正確な反映を目指すためには、選挙制度の適正化とともに、政治に無関心な人たちに選挙に行ってもらおう。家から出て、社会に参加しようという呼びかけが必要。そのための努力を、神先生は呼びかけました。(野瀬記)、

平和をあきらめない北九州ネット発足

12月14日、小倉北区の弁護士会館で、「平和をあきらめない北九州ネット」の発足集会が開かれました。参加80人。今年の戦争法案反対で、勝山公園に4000人を集めた「9・6実行委員会」が発展・改組したものです。

活動目的

新組織の、活動の目的は「戦争への歩みを止めるため、戦争法廃止を目指して、あらゆる個人、団体と共同し、取り組む」としています。具体的には、①戦争法が採決された19日に、毎月、定例宣伝を行う。②講演会や集会を積極的に開催する。(5月3日には憲法記念の集会を

予定しています)

2000万署名の推進

活動の中心は、戦争法廃止の2000万署名の推進です。そうがかり行動実行委員会などが取り組む、この署名を、北九州で、成功させるための中心になります。

当日の参加者からも、新組織への期待・要望も出されました。「宗教団体も、戦争法には反対するところもある。訪問し、署名のお願いをしてほしい」、「若い人への働きかけが大切、工夫がいる」などです。

新組織「平和をあきらめない北九州ネット」は、新たな期待を背負って、出発しました。

代表世話人の中野洋一 九州国際大学教授が 新刊を発刊しました

明石書店から

内容紹介

なぜ福島原発事故が発生したのか。その背景を探るため、1973年以後の世界の原発産業の動向を石油危機・シェール革命・温室化問題等と絡めながら詳説し、日本の原発産業の歴史・現状・問題点、福島原発事故と経済的損失、「原発マネー」について分析する。(明石書店HPより)

世界の原発産業と 日本の原発輸出

Nakano Yoichi
中野洋一



明石書店

2000万人「戦争法の廃止を求める統一署名」に取り組みましょう

2000万人署名が全国で、急ピッチで展開されております。

この署名の「呼びかけ団体」には総がかり実行委員会の構成団体と賛同・協力団体がありますので、「九条の会」の名はありません。しかし、九条の会としてはこの統一署名の主旨に賛成です。各地・各分野の九条の会でも、この署名用紙をぜひ活用してください。

2016年5月3日の発表をめざして、集約日は4月25日です。ただし、一気に2000万を整理することはできません。署名は集まり次第、どんどん届けてください。

以下、この署名の取り扱いについて、記載します。

◇用紙はコピーしても使えます。

◇署名したものは原本（コピーは不可）を九条の会に郵送（FAXは不可）してください。

◇署名は自筆を原則とします。

家族で姓や住所が同じであっても、省略や「ㄥ」は不可です。フルネームでお願いします。

署名の住所は都道府県から地番までお書きください。「同上」や「ㄥ」は不可です。

筆記用具は、消せないものを使用してください。鉛筆は使わないでください。

書き間違えたときは修正液は使わず、二重線で消して下さい。

署名の切り貼りや署名部分だけ切り取って送付することはしないでください。

どうしても5人の欄が埋まらないときは空欄のまま送ってください。

◇署名資格は、日本在住の方であれば、年齢、国籍は問いません。また、海外在住でも、日本国籍をお持ちの方は署名できます。

◇記入いただいた個人情報 は 請願以外の目的では使用しません。



カンパありがとうございます。そして、お願い！

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ11月 奥田正 松川英俊 川原巍誠 岩下照雄 三崎英二 小沢和秋 野瀬秀洋 磯田英実 東繁利 三輪俊和 三輪幸子 玉井史太郎 勝木多美 古賀三千人 奥田正 原田紀子 尾鶴真 成富茂 永沼慶子 阿部陽子 小川由美 安達恵美子 12月 山本猛雄 藁科美和 堤瑤子 野田由美 桑田勲二 近藤隆子 清松賢治 塩塚茂嘉 三浦仁士 佐多道人 懸谷一 渡辺末子 吉田素子 戸上省二 山口司郎 **メッセージ** ●遅くなって申し訳ありません。11/12 T. O ●カンパとして 11/16 A. M ●立憲主義を守り、戦争法廃止にむけ新たな決意でがんばりましょう 11/16 K. O ●安倍極右政権を打倒しましょう 11/19 F. T ●多忙のため、カンパ送金を失念し、申し訳ありません。超高齢に達し私も活動の整理を強く考えています。その時はご容赦下さい。11/20 M. K ●体力・気力は衰えを感じる今日この頃です。物忘れが始まっています。現在リハビリ中です。11/24 T. O ●ねばり強い闘い大変ご苦労様です！頑張りましょう！ 11/27 M. O ●カンパです 11/30 S. N ●12月になってしまいました。今年もお世話になりました。来年もよろしくお願い致します 11/30 Y. O ●お疲れ様です。来年も頑張りましょう。12/16 H. K